

## ■一般目標 (GIO)

歯の欠損に伴う機能と顔貌の変化を理解するために、残存歯を有する部分床義歯の理論と製作方法を学ぶ。またスポーツにおける歯科の役割を理解するために、マウスガードの製作方法を修得する。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・大連結子の種類と特徴を説明できる。
- ・人工歯の選択に関わる要素を説明できる。
- ・埋没の種類と方法を説明できる。
- ・マウスガードの使用目的を説明できる。

■教科書：(教1) 最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 (医歯薬出版)

(教2) 最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18:00~18:45

■オフィスアワー：伊藤 顕治 火曜日・17:00~17:45

■成績評価：定期試験 (90%)、平常試験 (10%)として総合評価する。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：板書とスライドを使用して講義を行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：伊藤 顕治：現在、日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座に在籍しており、部分床義歯学を専門とする歯科医師の立場から講義を行うことで、理解が深まると考える。

■関連教科：有床義歯技工学 (1年, 3年)

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月29日 伊藤 顕治	1. 部分床義歯の構成要素(1) 2)連結子 (教1)pp.147-154 2. バーの製作 (教1)pp.194-200	・大連結子と小連結子の目的を説明できる。 ・大連結子の種類と特徴を説明できる。 ・鋳造バーと屈曲バーの製作法を説明できる。
第2回10月13日 伊藤 顕治	1. 部分床義歯の構成要素(2) 3)人工歯 (教1)p.157 3. 部分床義歯の人工歯排列 (1) 1)前歯部排列 2)臼歯部排列 3)削合 4)歯肉形成 (教1)pp.201-211	・人工歯の役割を説明できる。 ・人工歯の選択に関わる要素を説明できる。 ・人工歯の排列方法を説明できる。 ・歯肉形成における残存歯との関係を説明できる。 ・歯肉形成の方法を説明できる。
第3回10月27日 伊藤 顕治	1. 部分床義歯の構成要素(3) 4)義歯床 (教1)pp.154-157 4. 部分床義歯の埋没と重合 1)加熱重合法 2)流し込みレジン重合法 (教1)pp.212-226	・義歯床の役割を説明できる。 ・埋没の種類と方法を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第4回 11月17日 伊藤 颯治	5. 部分床義歯の咬合調整と研磨 6. 咬合調整・義歯装着後の変化と対応 (教1)pp. 227-230	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分床義歯の研磨の方法を説明できる。</li> <li>・咬合調整・義歯装着後の変化と対応方法が説明できる。</li> </ul>
第5回 12月1日 伊藤 颯治	7. 修理 (教1)pp. 232-243	<ul style="list-style-type: none"> <li>・破折と破損の原因を列挙できる。</li> <li>・修理方法を説明できる。</li> </ul>
第6回 12月15日 伊藤 颯治	8. スポーツ歯科における歯科技工(1) (教2)pp. 170-175	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マウスガードの使用目的が説明できる。</li> </ul>
第7回 1月19日 伊藤 颯治	8. スポーツ歯科における歯科技工(2) 9. 臨床における部分床義歯について (教2)pp. 170-175	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マウスガードの使用目的が説明できる。</li> </ul>
第8回 2月9日 伊藤 颯治	10. 後期のまとめ 「平常試験」, 解説 (教1)pp. 147-154, 157, pp. 194-243 (教2)pp. 170-175	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1～7回の講義内容について理解度を確認できる。</li> <li>・理解度の低い箇所について知識を深める。</li> </ul>